

2012年12月25日

各 位

オリックス株式会社

「65歳定年制度」を導入 ～「再雇用制度」との併用・選択制とし、多様な働き方を支援～

オリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：井上 亮）は、2014年4月より現行の60歳定年を65歳に延長する「65歳定年制度」を導入することを決定しましたのでお知らせいたします。また、現行の「定年再雇用制度」と併用することで、60歳以降の働き方を社員自身がライフスタイルに合わせて選択できる制度を導入します。

昨今、少子高齢化による人口構成の変化により、年金の受給開始年齢が段階的に引き上げられるなど、企業のあり方と個人のキャリアにも大きな変化が求められています。オリックスは、2006年4月に「定年再雇用制度」を導入し、再雇用を希望する社員において所定の基準を満たす場合は原則65歳まで雇用契約を更新するなど、シニア層の活用を図ってきました。

2013年4月に施行される改正高年齢者雇用安定法では、企業は2025年までに段階的に希望者全員の65歳までの雇用を確保することが義務付けられます。オリックスは、シニア社員の経験やスキルの一層の活用を目的に、「65歳定年制度」の導入とともに、2013年4月から「定年再雇用制度」の対象者を希望者全員に拡大します。これにより、本人が希望する場合は60歳で一度退職したうえで、フレキシブルな勤務形態を選択することが可能になります。シニア層の価値観が多様化する中、60歳以降の勤務形態の選択肢を増やすことで、社員に多様な働き方を提供していきます。

その他、オリックスは、2011年より50歳を迎えた社員を対象に、社内外におけるセカンドキャリアの実現に向けた「キャリアデザイン研修」を開始しています。また今年度からは、50歳以上の社員を対象に、“求人制度”として自らのキャリアを開発し専門性をより高める機会を提供する「社内公募制度」や、“求職制度”として社員の能力や経験、希望する職務を登録する「キャリアエントリー制度」を導入し、グループの多岐にわたる事業領域において、社員と会社のそれぞれに適した職務・職場のマッチング制度を整えました。

オリックスは、今後も積極的にダイバーシティの推進を図り、全ての社員が能力を最大限に発揮できる、より働きやすい企業を目指してまいります。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

グループ広報部 堀井・柴田 TEL：03-5419-5102